

株主・投資家の皆様へ

ソースネクスト株式会社

2015年3月期事業報告書

2014年4月1日～2015年3月31日



ソースネクスト株式会社
代表取締役社長
松田 憲幸

株主、投資家の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げることをミッションに、お客様のご期待にそえる新製品の開発に注力して参りました。当連結会計年度は、スマートフォンアプリの企画・開発を積極的に拡充し、従来のパソコンソフトと併せて、お客様ニーズに合った新しいビジネスの創造に努めました。これにより、2年連続で営業利益、経常利益が過去最高となりましたことをご報告申し上げます。これもひとえに、株主の皆様の励ましとご支援のおかげと感謝の念に堪えません。

これまで、株主の皆様には多大なご支援をいただいていたにもかかわらず、業績の低迷により無配が続いておりましたが、業績が好調に推移していること及び財務体質の改善により、7期ぶりの復配を果たすことができました。改めてこれまでの株主の皆様のご理解、ご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後も持続的な成長と安定的な配当で、株主の皆様のご期待に応えなければならぬと、決意を新たに全社一丸となって業務に邁進していく所存です。

引き続き、社名の由来でもある「次の常識をつくる」をスローガンとし、製品を通じて世界中の人々に喜びと感動を広げるべく、お客様視点で世界市場への展開を目指して参ります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

2015年6月

会社の概況 (2015年3月31日現在)

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル6階
資本金	1,771百万円
従業員数	84名(臨時社員2名)
事業内容	コンピュータソフトウェア及び ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2015年3月31日現在)

代表取締役社長	松田 憲幸
代表取締役副社長	松田 里美
取締役	小嶋 智彰
取締役	青山 文彦
社外取締役	生田 正治
社外取締役	高澤 廣志
社外取締役	久保利 英明
常勤監査役	高野 正三郎
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	高野 角司

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	90,280,000株
発行済株式の総数	31,732,000株
株主数	2,978名

企業理念

社名の意味

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン

世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい
喜ばれる
面白い

行動指針

真剣に取り組む
ポジティブに考える
感性を磨く



スマホアプリ

大手3キャリアのすべてにアプリを提供

ソースネクストは2012年より、年々急速に普及するスマートフォン用のアプリの企画・開発を強力に推し進めてきました。その結果、大手3キャリアのすべてで、当社のアプリをお使いいただけるようになりました。アプリの数は47に上ります。

提供開始	キャリア	サービス名	提供アプリ数
2012年3月	KDDI株式会社	「auスマートパス」	19
2013年6月	株式会社NTTドコモ	「スコ得コンテンツ」	14
2014年8月	ソフトバンクモバイル株式会社	「App Pass」	18

(2015年3月時点)

使い放題サービス

独自のスマホアプリ使い放題サービスで新マーケットを開拓
さらに2014年からは、パソコンソフトの使い放題サービス「超ホーダイ」、同ビジネスソフト用の「超ホーダイBusiness」、そしてスマホアプリ用の「アプリ超ホーダイ」と、独自の使い放題サービスを次々に開発。自社製品として販売するだけでなく、積極的なOEM提供により幅広い業種に販路を広げています。

使い放題サービス	用途・対象	提供先
「超ホーダイ」	パソコン用	インターネットプロバイダー
「超ホーダイBusiness」	パソコン用法人向け	格安スマホ販売業者など
「アプリ超ホーダイ」	スマホ用	

パソコンソフト

ソニー製ソフトを独占販売へ

2015年には、Sony Creative Software社と国内独占販売(8月より)の契約を締結。ダウンロード販売を中心に売上を拡大しています。また、ダウンロード販売で好調だった製品を改良した「さよなら手書き2」はパッケージ版として家電量販店でも発売(5月より)。販売チャネルの連係を新しいマーケティング・モデルとして確立しました。



Sony Creative Software社製品



さよなら手書き2

Windows 10の対応をいち早く保証

パソコンソフトの分野では、2015年夏にリリースされる新OS・Windows 10への対応をいち早く表明。主力製品は、Windows 10対応保証としてお客様が安心して購入できるようにしています。ウイルス対策ソフトでは、Windows 10でも期限切れになることなく使えることをセールスポイントとして打ち出し、パッケージを一新して、入れ替えを行ない好調です。

ZEROシリーズを一新

世界のウイルス対策ソフトが更新料0円で使える新セキュリティブランド。それがZEROです。目的や予算に合わせて選べる、お客様本位のシリーズです。



ZEROウイルスセキュリティ
のご愛用者数930万人突破。
累計3000社以上の企業にご導
入いただいています。

ZEROスーパーセキュリティ
本製品と同エンジンの製品である
「Bitdefender Internet Security」は、
AV-Comparativesの「プロダクト・オ
ブ・ザ・イヤー 2014」を受賞。

また、これまで主要なジャンル中、唯一ラインアップのなかった会計ソフトでは「マネーフォワード自動会計」シリーズをパッケージ化して家電量販店での販売を開始しました。同製品は、先進のクラウド会計サービスとして評価の高いものです。



マネーフォワード確定申告



筆王Ver.19

アプリ超ホーダイ



超ホーダイ



超ホーダイBusiness



ユーザーサービス

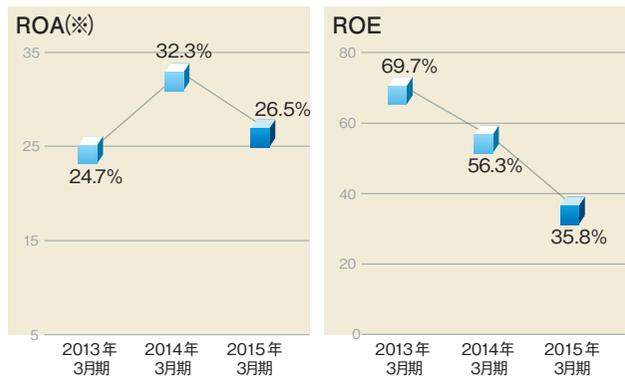
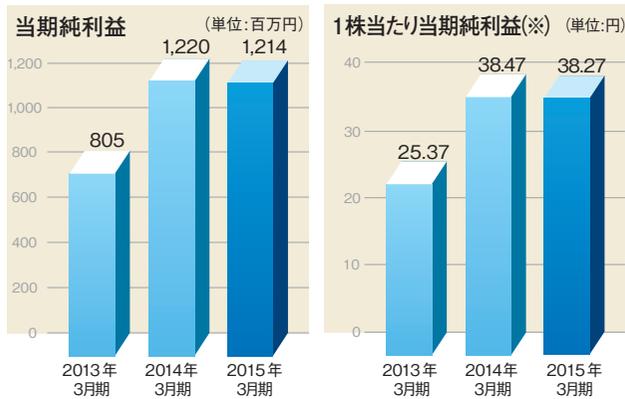
1000万人を超えるご登録ユーザー

ソースネクストでは2000年より、自社サイトでの通販やダウンロード販売を開始。製品を購入しユーザー登録されたご登録ユーザー数は、のべ1000万人を超えています。ご登録ユーザー向けのサービスを充実させ、リピーターの拡大に力を入れることにより、現在では当社の最も大きな収益源となっています。



財務ハイライト

連結業績推移



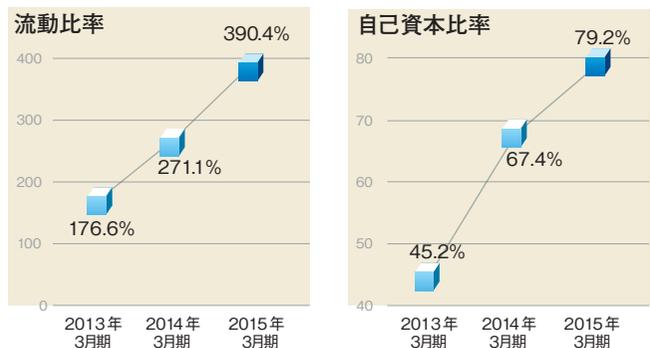
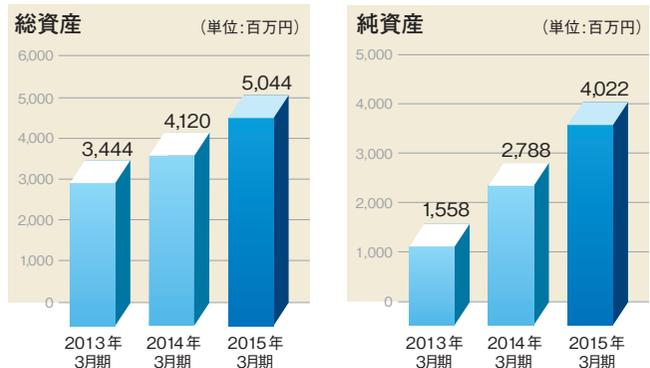
(※)当社は、2013年9月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

当期の概況

当連結会計年度(2014年4月1日～2015年3月31日)は、成長分野であるAndroid端末を中心とするスマートフォン向けアプリ、及び、パソコンソフトの積極的な拡充に取り組んで参りました。

スマートフォン向けアプリでは、2014年8月に、ソフトバンクモバイル株式会社の「App Pass」、同年9月には米国 Sprint Corporationの「App Pass」に、新製品の提供を開始しました。これにより、従来のKDDI株式会社の「auスマートパス」と株式会社NTTドコモの「スゴ得コンテンツ」と併せて、国内主要3キャリア全てにアプリを提供することとなりました。同年10月には、スマートフォン向けアプリが定額料金で使い放題の自社サービス「アプリ超ホーダイ」を発売しました。セキュリティから人気ゲームまで、100タイトル以上の厳選された高品質なアプリが簡単に利用できることから、今後も更に需要の拡大が見込まれます。パソコンソフトでは、主力製品「ウイルスセキュリティ」のユーザー数が累計930万人を突破しました。2014年6月には、120タイトル以上の最新パソコンソフトが定額料金で使い放題になるサービス「超ホーダイ」を発売しました。同年11月には法人向けに「超ホーダイBusiness」もスタートし、好評を博しております。

この結果、営業利益は13億2百万円(前期比4.6%増)、経常利益は13億12百万円(前期比7.1%増)、当期純利益は12億14百万円(前期比0.5%減)となりました。営業利益、経常利益は2年連続で過去最高益となり、売上高経常利益率も過去最高の21.6%となりました。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

2015年3月31日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	3,805,157	流動負債	974,803
固定資産	1,239,608	固定負債	47,302
有形固定資産	22,200	負債合計	1,022,106
無形固定資産	966,985	純資産の部	
投資その他の資産	250,422	株主資本	3,992,274
		その他の包括利益累計額	5,453
		新株予約権	24,932
		純資産合計	4,022,659
資産合計	5,044,766	負債純資産合計	5,044,766

連結損益計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで(単位:千円)

科目	金額
売上高	6,088,755
売上原価	1,631,287
売上総利益	4,457,468
販売費及び一般管理費	3,154,725
営業利益	1,302,742
経常利益	1,312,133
税金等調整前当期純利益	1,326,656
法人税等合計	112,230
当期純利益	1,214,426

連結キャッシュ・フロー計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,649,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲645,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲539,808
現金及び現金同等物の期末残高	2,278,689

次期の見通し

2016年3月期のスマートフォン向けアプリ及びパソコンソフト市場では、今年スタートした光コラボや総務省ガイドライン改定による端末のSIMロック解除、マイクロソフト社の新OS「Windows 10」リリースなど、新たな動向を含めた市場活性化に向けて、早急に対応を進めていく所存です。

連結業績予想につきましては、売上高68億89百万円(当期比13.1%増)、営業利益は13億99百万円(当期比7.4%増)、経常利益は14億6百万円(当期比7.2%増)を見込んでおります。当期純利益は税務上の繰越欠損金が解消される見込みであることから、9億5百万円(当期比25.5%減)を見込んでおります。

当期の配当金は、配当性向を10%とし、1株当たり3円83銭とさせていただきます。2008年3月期以来7期ぶりの復配となります。次期配当につきましても、予想配当性向15%の1株当たり4円28銭で実施する予定です。今後も引き続き、主力製品の販売促進強化に加え、新作やスマートフォン向けアプリの開発及び販売に注力して参ります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年6月開催 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先)  0120-782-031 (インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html (株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について) 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 (特別口座について) 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	電子公告の方法により行ないます。 (http://sourcenext.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	4344
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部



ソースネクスト株式会社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門三丁目8番21号
虎ノ門33森ビル6階
tel. 03-6430-6406(代表)

●Windows及びWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●iPhone、iPadはApple Inc.の登録商標です。●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. セキュリティの「ZERO」シリーズです
「ウイルスセキュリティ」のご愛用者は累計930万人(*)を超えています。
(*)2015年6月時点

Q. スマートフォン向けアプリの人気タイトルは？

A. 「超電池」「驚速メモリ」「超便利ツールズ」「超ブルーライト削減」が人気です
auスマートパスでは「超電池(旧 超節電)」が合計で230万件ダウンロードされています。続いて「驚速メモリ」、「超便利ツールズ」、「超ブルーライト削減」を加えた4タイトルが月間ベスト50位に入っています。スコ得コンテンツでは、「超便利ツールズ」「万能カメラ」が入っている「超人気ツール」メニューが人気です。なお、「超ブルーライト削減」はメニューとしても独立しました。

Q. 海外企業と業務提携をする目的は？

A. 世界中から良い製品を探し、最高の製品を提供するためです
そのためアメリカ、中国、インド、ルーマニア、バングラデシュなどの企業と提携し、有望製品が集まるシリコンバレーに現地法人を置いています。

Q. 業績が好調な理由は何ですか？

A. 利益率の高い製品が好調なためです
KDDI社のauスマートパスやNTTドコモ社のスコ得コンテンツ、ソフトバンクモバイル社のApp Passでのスマホアプリ展開が非常に好調に推移いたしました。PCソフトでは、「ZEROウイルスセキュリティ」及び「ZEROスーパーセキュリティ」「筆王」などが堅調であったことが、業績好調に貢献しております。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 総合的に検討して参ります
当社は、将来にわたる業績の向上が企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えることと考え、業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。

Q. 今後の事業戦略は？

**A. スマホアプリとPCソフトの資産を活かし、
多様な販売チャネルを維持・成長させていきます**
国内大手携帯キャリア向けへのスマホアプリ提供、パソコンソフトが使い放題になる「超ホーダイ」、格安スマホを中心にアプリ使い放題をプラットフォームごと提供する「アプリ超ホーダイ」と、ここ数年で新規事業を次々と立ち上げ、新たな収益の柱となりつつあります。将来にわたる安定収入・持続的な成長が見込めるこれらの事業をさらに発展させていきつつ、従来の強みである家電量販市場、eSHOPでの製品販売にも注力して参ります。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. はい、コンプライアンス重視の風土を築いております
当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしています。さらに法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる「企業倫理ホットライン」を設置、運営しています。